

人馬一体



1月15日(日)。萩日吉神社西側の特設馬場において、三年に一度の「萩日吉神社の流鏝馬」が執り行われました。この神事は、天福元年(1233)11月26日に始まったといわれ、明覚郷と大河郷(小川町)が奉納しています。木曾義仲が討たれ、その家来の七氏が、平の坂本家の先祖に宿を借り、世話を受けました。七氏は坂本家の忠告により、明覚郷(馬場氏・市川氏・荻窪氏)と大河郷(横川氏・小林氏・加藤氏・伊藤氏)に分かれて住むことになりました。そして、七氏は、主君の義仲を祭った萩日吉神社に、流鏝馬を奉納することになったといわれています。

